

6月 ひなぎくだより



雨が多い季節になりました。園庭では遊べない日が続いていますが、和室やホールで雨の日ならではの遊びを楽しんでいます。

幼稚園に慣れたことで、他のクラスのお友だちや活動が気になるようになってきました。「何してるのかな」と窓からお部屋を見てみたり、ホールから物音がすると、「音が聞こえたね」「行ってもいい？」と興味津々です。ふたりが覗きに行くと、「一緒にあそぶ？」「おいで」と誘ってくれるにじグループさん。一緒に玉入れをしたり、パラバルーンに混ぜてもらって大満足のふたりです。こんな経験の積み重ねが、大きくなること、進級することへの期待感に繋がるといいな、と思っています。

初めて大きな積み木で遊びました。高く積んで遊ぶAちゃんと、横に並べて長くするBくん、思い思いに楽しみました。「高速道路みたいに長くなった」とBくん。リレーバトンを車のハンドルに見立て、「安全運転するよ」「Aちゃんも一緒にする？」と、2人で運転手になって遊びました。



カード帳に聖句カードを貼ることを楽しみにしているひなぎくグループさん。「もっとぬりぬりする」と、糊を楽しんでいたのも、私が画用紙を切り、それを貼って遊んでいました。事前に切ったものを用意しておいてもよかったのですが、もしかしたら、ハサミにも興味が出るかも、と思い、あえてハサミで切っているところを見せました。すると私が切っている様子をじーっと見ているふたり。「チョキチョキしてみる？」と聞くと、嬉しそうに「チョキチョキする！」とハサミを握っていました。それから毎日のようにハサミで遊んでいます。ハサミの扱いや、左手で画用紙を持つことは難しいですが、それでも集中して楽しんでいるのは、子ども自身が“やってみたい”“やりたい”と思っているからこそだと感じています。



担任 加瀬悠華